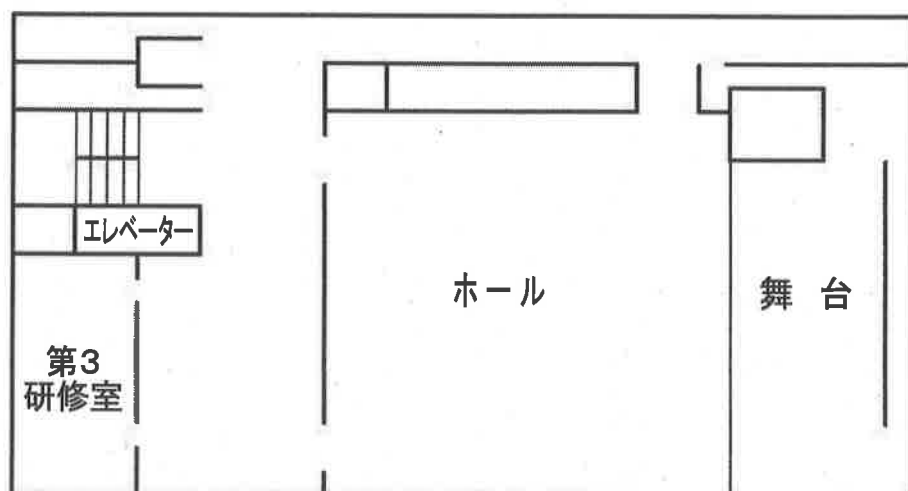


若 狭 公 民 館



利 用 施 設 の ご 案 内



部屋名	収容人数	用 途 (備 品)
ホール	200～250 人	講演会・発表会・音楽会・展示会等 (ピアノ・イス等)
第 1 研修室	60 人程度	研修室・会議 (イス・テーブル)
第 2 研修室	30 人程度	研修室・会議 (イス・テーブル・電子ピアノ)
第 3 研修室	20 人程度	研修室・会議 (イス・テーブル)
実 習 室	20 人程度	調理実習・その他実習 (料理用器具等)
和 室	20～30 人 (12 畳×2)	お茶・生け花・着付け (茶道設備)

I 若狭公民館の沿革

旧若狭市場跡に完成した当施設は、国道58号線以西でははじめての文化施設である。平成元年4月に公民館・図書館建設用地として、用度管財課より教育委員会へ移管され、建設について地域住民、利用団体からの意見・要望を聴取し、平成3年6月22日工事着工、平成4年3月19日竣工した。

建物は若狭小学校、若狭公園に隣接し、1階は図書館、2・3階が公民館で地域住民の学習の場として誕生した。特に生涯学習に関する情報等を提供する事業として、パーソナルコンピューターと電話回線を利用したパソコン通信を県内の行政機関ではじめて導入した。

平成16年度より公募による非常勤館長を配置し、平成22年度より公民館業務の一部をNPO法人に委託している。平成27年度より指定管理者制度を導入し、NPO法人地域サポートわかさが指定管理者となった。

平成3年11月1日	若狭公民館の発足に伴い、館長 高良繁が発令された。
平成4年6月2日	若狭公民館及び図書館の開館式が行われた。
6月3日	若狭公民館及び図書館が開館。
6月10日	利用団体サークル（32団体）への施設の提供が始まった。
8月4日	生涯学習情報提供事業「NAHAあけもどろネット」開局式が行われた。
平成5年3月5日	第1回若狭公民館まつりが開催された。
平成6年11月7日	若狭公民館利用団体連絡協議会が結成された。
平成7年4月1日	館長 高良繁配置替えにより、館長 宮良毅が発令された。
7月14日	社会教育優良施設として県教育委員会より表彰を受ける。
12月1日	多年に亘り優れた公民館活動が認められ、沖縄県公民館連絡協議会より表彰を受ける。
平成8年4月1日	公民館主事1減に伴い社会教育指導員1増。
平成10年4月1日	館長 宮良毅配置替えにより、館長 阿波連寛が発令された。
平成11年10月27日	第52回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。
平成13年4月1日	館長 阿波連寛配置替えにより、館長 高里洋介が発令された。
平成16年4月1日	館長 高里洋介配置替えにより、館長（非常勤）山田民子が発令された。 非常勤館長配置に伴い、主査1増、公民館主事1減。
平成17年4月1日	社会教育指導員1減。
平成19年4月1日	館長（非常勤）山田民子任期満了により、館長（非常勤）宮城潤が発令された。
平成22年1月12日	全国公民館連合会主催「第3回全国公民館ホームページコンクール」で最優秀賞を受ける。
平成22年4月1日	館長（非常勤）宮城潤任期満了により、館長 津嘉山剛が発令された。
平成22年4月1日	業務の一部をNPO法人地域サポートわかさ（理事長 早川忠光）に委託された。
平成23年1月21日	全国公民館連合会主催「第3回全国公民館報コンクール」で『広報わかさ』が優秀賞を受ける。
平成23年4月1日	館長 津嘉山剛配置替えにより、館長 平良恒次が発令された。
12月13日	全国公民館連合会主催「第4回全国公民館ホームページコンクール」で最優秀賞を受ける。
平成24年4月1日	館長 平良恒次配置替えにより、館長 下地敏雄が発令された。
平成26年1月6日	全国公民館連合会主催「第5回全国公民館ホームページコンクール」で優秀賞を受ける。
4月1日	館長 下地敏雄配置替えにより、館長 平良恒次が発令された。
平成27年4月1日	指定管理者制度の導入により、NPO法人地域サポートわかさが指定管理者（理事長 早川忠光）となる。

平成28年1月8日	全国公民館連合会主催「第1回全国公民館インターネット活用コンクール」で最優秀賞を受ける。
平成28年12月21日	全国公民館連合会主催「第6回全国公民館報コンクール」で『広報わかさ』が優良賞を受ける。
平成30年1月8日	全国公民館連合会主催「第2回全国公民館インターネット活用コンクール」で最優秀賞を受ける。
平成30年3月8日	第70回優良公民館（文部大臣表彰）において「最優秀館」に選ばれる。
平成30年12月13日	第7回全国公民館報コンクールにおいて「最優秀賞」を受ける。
令和2年1月	第3回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて「最優秀賞」を受ける。
令和3年1月	第8回全国公民館報コンクールにおいて「銀賞」を受ける。
令和3年12月	第4回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて「金賞」を受ける。
令和4年12月	第9回全国公民館報コンクールにおいて「銀賞」を受ける。

Ⅱ 令和4年度若狭公民館事業目次

1 学習風景（写真）	83
2 成人一般対象事業	
〔1〕 市民講座	
◇南の島の南極教室2022	84
〔2〕 成人講座	
◇Let's BOSAI 防災講演会「～楽しい防災イベントの作り方～」	85
◇那覇市若狭公民館 開館30周年記念トークイベント	86
〔3〕 健康講座	
◇わかさウォーキング教室	87
3 高齢者対象事業	
〔1〕 高齢者学級	
◇スマホレッスン講座	88
◇はつらつ健康学校	89
◇シニアいきいきクラブ	90
4 青少年対象事業	
〔1〕 少年教室	
◇科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー「空力ボディー」	91
◇ワールド リンク プログラム	92
〔2〕 青年講座	
◇うみそら上映会実行委員会	93
〔3〕 放課後子ども教室	
◇若狭公民館放課後子ども教室「若狭ちむどんどん太鼓」	94
5 家庭教育事業	
〔1〕 家庭教育学級	
◇子どもに学ぶ～効果的な伝え方・学び方～	95
6 その他の事業	
〔1〕 地域連携事業	
◇第24回 若狭地域文化祭	96
◇オンライン・ネパール ニューイヤー パーティー2022/2079	97
◇ネパール献血者協会1周年記念“命を分かち合う献血”	98
◇なは防災キャンプ'22春（那覇新都心公園）	99
◇なは防災キャンプ'22秋（那覇市津波避難ビル）	100
◇なは防災キャンプ'23冬（松山公園）	101
◇うみそら上映会in若狭海浜公園	102
◇リッカ！ヤールーキャラバン！inあけぼの公園	103
◇映画上映会&トークイベント ゆめパのじかん	104

〔2〕 提案事業

◇わかさ防災教室「防災寺子屋」	105
◇地域文化倶楽部「アートな部活動」	106
◇無料英会話教室「ELIPO」	107
◇一品持ち寄り「朝食会」	108
◇公共施設管理団体等が実施する子どもの居場所運営事業	109
◇若狭町の歴史をつなぐ未来づくりプロジェクト	110

7 第30回 若狭公民館まつり 111

1. 学習風景



高齢者学級
スマホレッスン講座



地域連携事業
なは防災キャンプ'23 冬(松山公園)



市民講座
南の島の南極教室2022



健康講座
わかさウォーキング教室



少年講座
科学のびっくり箱!なぜなにレクチャー
「空力ボディー」



提案事業
地域文化倶楽部「アートな部活動」

2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

南の島の南極教室2022

趣 旨：南極観測や観測隊員の生活などについて知ること、南極を身近に感じ環境保全に関心を持つようになる。また、地球規模の視野を持って思考し行動するきっかけとなることを目的とする。

期 日：令和4年10月23日（日）

時 間：14:00～16:00

場 所：若狭公民館ホール

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人、関心のある人

受講料：無料

定 員：50人 申込人数：60人（うち受講決定人数56人） 参加人数：49人

講 師：藪 伸児/馬場 壮太郎/大下 和久/金城 順二/春日井 一人/宮城 寿之/渡辺 興亜/原 稔/河原 恭一

共 催：南極OB会沖縄支部

協 力：国立極地研究所

★★ 学習プログラム ★★

南極観測や現地での生活について観測隊OBによる講話を行い、南極からのビデオメッセージを観覧する。また、南極についてのクイズ・質問コーナーやパネル・グッズ展示などを通して南極についての関心を深める。



【参加者の声】

- ・ 子どもと一緒に南極について楽しく学ぶことができてよかった。
- ・ オーロラの素晴らしいこと。大自然の素晴らしさに感動。
- ・ 小さな子どもたちがしっかりと話を聞いている姿があり、高学年や中学生なども参加して大きな夢を持って欲しいと思った。
- ・ 隊員の現地での生活や活動内容を知る事ができ貴重な体験でした。
- ・ 隊員の方のお話が素人にも分かりやすく楽しかったです。

【まとめ】

今回の南極教室は、約3年ぶりの対面開催となった。会場にはパネルや本物の隕石、鉱石などが展示され、観測隊OBと講話やクイズなど直接交流できて南極がより身近に感じる事ができた。また、南極から本物の氷も届き、実際に触ったり音を聞いたりして貴重な機会となった。さらに、オンラインによる日本各地の観測隊OBとの交流や南極からのビデオレターを通して、驚きや発見の連続で南極への理解が深まった。

国立極地研究所、南極OB会沖縄支部の全面協力により実現しているこの講座は、普段知る機会の少ない遠く未知の南極大陸について学ぶことができる貴重な講座である。観測隊の皆様にご感謝すると同時に、沖縄県内でこの南極教室のことを広く紹介していきたい。

〔2〕成人講座

Let's BOSAI 防災講演会「～楽しい防災イベントの作り方～」

趣 旨：地震等の災害に備え、世界中に広がっている防災イベント『イザ！カエルキャラバン！』を企画開発した NPO 法人プラスアーツから講師をお招きして、楽しく参加できる防災イベントの作り方を学ぶ。

期 日：令和4年8月11日（木・祝日）

時 間：10：00～12：00

場 所：若狭公民館ホール

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人、関心のある人

受 講 料：無料

定 員：50人

申込人数：25人（うち受講決定人数18人）

参加延べ人数：30人

講 師 名：永田 宏和（NPO 法人プラスアーツ理事長）

★★ 学習プログラム ★★

『イザ！カエルキャラバン！』を企画したキッカケと活動実績、楽しい防災イベントの作り方に関する講話



【参加者の声】

- ・地域や行政と防災イベントにつなげられると思いました。まず、最初にまちづくり協議会として、小学校、高齢者向けに企画したい。
- ・市民を集めて協議する場が多いため、市民が参加したくなる内容、導入（宣伝）やみせ方・発想・視点・広い視野などを学べました。
- ・わかりやすい説明でもっと学んでみたいと思いました。
- ・持ち帰って、アイデアとして知らせてあげたい。そこから企画につなげたい。

【まとめ】

講話では、「不完全プランニング」と「+クリエイティブ」の概要と企画作りのポイント、プラス・アーツが関わっている防災プログラムを学んだ。楽しみながら防災知識を得るイベントの作り方を学び、それぞれの職場や地域、グループで開催できるヒントを得ることができた。若者や高齢者、障がい者などにも目を向けたイベントの事例を紹介してもらい、沖縄版に作り替える際の助言をいただいた。

那覇市若狭公民館 開館30周年記念トークイベント

趣 旨：那覇市若狭公民館の30周年を記念して、公民館や社会教育の第一人者である東京大学の牧野 篤教授をお迎えし、若狭公民館の取り組みとこれからの公民館のあり方について語り合う。

その様子をオンラインで同時配信し、内容は30周年記念誌に収録する。

期 日：令和4年5月30日（月）

時 間：18:30～20:30

場 所：若狭公民館第2研修室・若狭公民館 YouTube チャンネル

対 象：興味のある人

受講料：無料

定 員：なし 申込人数：なし

参加延べ人数：45人（オンライン閲覧数）+1人（対面） YouTube 視聴回数220回（3月末現在）

講師名：牧野 篤（東京大学大学院教授・中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員）

★★ 学習プログラム ★★

宮城館長から若狭公民館の取り組みについて紹介した後、牧野教授が公民館のエピソードを取り上げながら意見交換をしていく形で対談を行い、同時に若狭公民館公式 YouTube チャンネルにて配信。



【参加者の声】

- ・「朝食会」という何気ない集まりの中から様々なイベントが生まれたことや、「アート×社会教育」の幅広い取り組み等から公民館の必要性を再確認した。
- ・若い人たちの価値観がだいぶ変わってきている中、公民館や社会教育が多世代で相互に繋がって理解し間接的に社会を形成していく場になっていくのが理想的であると感じた。
- ・地域の居場所のあり方が重要で、そのための取り組みが必要だと思った。
- ・オンラインでは映像と音声が乱れて視聴しづらかった。

【まとめ】

若狭公民館30周年の記念となる興味深い内容のトークイベントとなった。これまで公民館が取り組んできた事業や講座などを具体的に紹介し、これからの公民館のあり方について対談形式で深く掘り下げることで、若狭公民館の評価されている点や課題点がより明確になった。

今後は地域課題の解決に向けて、小さな実践を積み重ねながら多様な人や機関と協力し、地域社会のHUBとしての役割を担えるようにしていきたい。

オンライン同時配信については、映像の不具合が生じてしまいネット環境改善等の課題が残ったが、アーカイブ映像を公民館の公式 YouTube チャンネルにて公開することで、対談終了後にも閲覧できるようにした。

【3】健康講座

わかさウォーキング教室

趣 旨：歩く習慣をつけることにより、日頃の運動不足と生活習慣病の予防と改善に心掛け、健康でより明るく楽しい日常を送ることを目指す。また、今年度11月13日開催予定の「ひやみかちなはウォーク」に参加することを目標とする。

期 間：令和4年10月4日（火）～10月25日（火）全4回

時 間：18：30～20：00

場 所：若狭公民館ホール・若狭海浜公園とその周辺

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人

受講料：無料（但し、保険料200円は自己負担）

定 員：20人 申込人数：36人（うち受講決定人数30人） 参加延べ人数：84人

講師名：堀川 恭登

★★ 学習プログラム ★★

運動前ストレッチ→ウォーキング→運動後ストレッチという流れを基本に正しいウォーキング法を学ぶ。
毎回違うコースにチャレンジする。

回数	日 程	内 容	参加人数
1	10月 4日（火）	ウォーキングの基本と正しい歩き方（若狭バースコース）	28人
2	10月11日（火）	ウォーキングの注意点やマナーに気を付けてウォーキング （ホテル アンテルーム 那覇コース）	24人
3	10月18日（火）	筋肉や内臓など体の仕組みを学びながら正しいウォーキング法を 学ぶ（雨天：若狭公民館ホール）	18人
4	10月25日（火）	ウォーキングの楽しさを知る（福州園～久茂地～軽便鉄道コース）	14人



【参加者の声】

- ・ 堀川先生のお話がとてもユニークで楽しくウォーキングが出来た。
- ・ 正しいウォーキングやストレッチの方法を学ぶ事が出来たのと体の理論的な講座も良かった。
- ・ ひやみかちなはウォークの準備として参加出来て良かった。
- ・ 健康について大変勉強になり、気づきがたくさんありました。

【まとめ】

日頃の運動不足解消や生活習慣病の予防と改善のため、仲間と共に楽しく学びながらウォーキングが出来た。ウォーキングの基本と正しい歩き方、筋肉や内臓などの体の仕組みも学び、歩くことの大切さを改めて確認できた。地域周辺を歩くことにより若狭の景色の新たな発見がありとても新鮮だった。

また、講座終了後に「ひやみかちなはウォーク」へ多くの方が参加してくれた。ウォーキングを通して健康で明るい日常を目指す良いきっかけとなった。

3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

スマホレッスン講座

趣 旨：昨今の携帯電話普及率はめまぐるしく、年代を問わず多くの人がスマートフォン・タブレットを持つようになった。しかし機器を持っても、使いこなせない高齢者も少なくない。そこで、高齢者を対象にLINEの基本的な操作方法から応用までを学び、実生活に役立ててもらおう。

期 日：令和4年7月20日（水）～22日（金） 全3回

時 間：14:00～16:00

場 所：若狭公民館第1研修室

対 象：那覇市在住・在勤の60歳以上の方で全3回通して参加できる人

受講料：無料

定 員：15人

申込人数：50人（うち受講決定人数20人）

参加延べ人数：55人

講師名：房前 三男（那覇市シルバー人材センター）

★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	参加人数
1	7月20日（水）	タッチパネルでの指の使い方練習、便利な使い方、YouTubeの楽しみ方、LINEの活用	19人
2	7月21日（木）	文字入力、写真を撮影・編集、動画の撮影、写真の送信・転送・保存	18人
3	7月22日（金）	プラスメッセージ、Goodleで遊ぼう、QRコードを読み込む、LINEの友だち追加方法、カレンダー活用	18人



【参加者の声】

- ・スマホはびっくりするほど便利すぎる。いろんなことが出来るとわかった。
- ・ハイスピードでしたがクリアさせてもらい感謝です。
- ・房前先生のユーモアを交えての教室楽しかった。
- ・定年5年目で久しぶりの学び、良い記念日でした。

【まとめ】

受講生の皆さんが真剣に新しいことを学ぶ喜びを感じているようすが見られ、「楽しい～」「すごい」といったつぶやきも聞こえた。今回は、那覇商業高校2年生がボランティアでサポートすることで個別対応が可能となり、例年よりも和気あいあいとした様子が印象的だった。これを機にスマホを日常的に活用いただくことを期待したい。講座の継続を学ぶ声が多くあった。他の講座の受講案内など学習情報提供を充実させ、窓口での相談対応・助言、サークル化についても検討していきたい。

はつらつ健康学校

趣 旨：住み慣れた地域で、ずっと元気で過ごすために、介護予防の重要性について学び、ここで得た知識を今後の生活に活かし、充実した人生を目指す。

期 間：令和4年7月1日（金）～8月5日（金）

時 間：14:00～16:00

場 所：若狭公民館第1研修室、ホール

対 象：那覇市在住・在勤・在学で65歳以上の人

受講料：無料

定 員：15人

申込人数：15人（うち受講決定人数15人）

参加延べ人数：87人

講師名：学習プログラム参照

共 催：那覇市地域包括支援センター若狭

★★ 学習プログラム ★★



回数	日 程	内 容	講 師	参加人数
1	7月 1日（金）	フレイルについて理解を深める （脳トレ・体操）	陣内智子（保健師）	18人
2	7月 8日（金）	自身の身体の状態を知る（In body で測定）	亀川博光（運動指導士）	15人
3	7月15日（金）	認知症が引き起こす脳の変化	野村龍一（作業療法士）	14人
4	7月22日（金）	日常生活の中にある認知症予防を発見	野村龍一（作業療法士）	13人
5	7月29日（金）	低栄養の予防と対策	山里瑠美（管理栄養士）	13人
6	8月 5日（金）	人生会議 （これまでの人生・これからの目標）	島袋昌子 （ケアマネージャー）	14人

【参加者の声】

- ・身近でフレイル予防、とても有意義な内容でした。毎日40分位動いていれば運動になると聞いて、運動に対してハードルが下がった気がして嬉しかった。
- ・インボディで測定していただいた事で自分の身体の状態を知ることが出来た。今後の生活習慣や運動に活かす事が出来そうです。
- ・脳トレ体操や、ちゃーがんじゅ体操を初めて体験しましたが、とても楽しく行う事が出来、いい汗をかきました。
- ・認知症について新たな知識を得た。自分では分かっているつもりでも、今日お話を伺い再認識し生活を考え直そうと思いました。
- ・紫外線は、皮膚トラブルだけでなく、老化にも影響がある事を知りました。
- ・“命の道標”考えさせられました。もっと家族で話し合いたいと思いました。

【まとめ】

今回の講座では、元気で活動的な生活を送るために必要な知識を6回に分けて学んだ。適度な運動とバランスのとれた食事の大切さ、認知症及び介護予防の重要性について学び、これからの人生を前向きに頑張りたいと言う目標が出来た。今回の学びを今後予定しているシニアいきいきクラブでの活動に繋げて行きたいと思う。

シニアいきいきクラブ

趣 旨：住み慣れた地域で元気に過ごすための居場所づくりとして、充実した人生を過ごすために共に楽しく学びあう場とする。

日 時：令和4年8月19日～令和5年3月17日の第1、3金曜日 全15回 午後2時～4時

場 所：若狭公民館第1研修室、ホール、実習室

対 象：那覇市在住・在勤・在学で65歳以上の人

受講料：無料 定 員：15人（先着順で定員に達し次第しめきり）

参加延べ人数：131人

協 力：那覇市地域包括支援センター若狭

第一生命保険株式会社、ちゅいしーじー那覇、沖縄ヤクルト株式会社

★学習プログラム★ ※毎回、体操を実施（コグニ体操、ちゃーがんじゅう体操、那覇市歌体操）

回数	実施日	内 容	講 師	参加人数
第1回	8月19日（金）	絆ノート	福村舞子（シニアライフカウンセラー）	8人
第2回	9月2日（金）	思い出ゆんたく		8人
第3回	9月16日（金）	人生双六ゲーム	第一生命保険株式会社	7人
第4回	10月7日（金）	「もしも」のための話し合い	高江洲あやこ、小濱美咲、西銘千絵 （ちゅいしーじー那覇）	8人
第5回	10月21日（金）	「命の道しるべ」ACP 普及啓発短編まんが・アニメーション動画		8人
第6回	11月4日（金）	緊急医療情報キット	阿嘉宗治（那覇市社会福祉協議会）	7人
第7回	11月18日（金）	クッキング「ひらやーちー」		7人
第8回	12月2日（金）	ウン知育教室	渡久地貴子（ヤクルト食べ方アドバイザー）	8人
第9回	12月16日（金）	健腸長寿メソッド	並里ななえ（ヤクルト管理栄養士）	9人
第10回	1月6日（金）	人生双六ゲーム	第一生命保険株式会社	8人
第11回	1月20日（金）	「ビフィズス菌を増やそう！」	並里ななえ（ヤクルト管理栄養士）	10人
第12回	2月3日（金）	知って得する相続の話	第一生命保険株式会社	10人
第13回	2月17日（金）	バルーン講習会	仲宗根 麗	13人
第14回	3月3日（金）	認知症理解して支え合うまちに	野村龍一（那覇市地域包括支援センター若狭 認知症地域支援推進員）	9人
第15回	3月17日（金）	エンディングノートについて		11人

【受講者の声】

- ・健康に老いて生きるにはどうしたらよいか、この学習会や参加者の意見が役にたった。
- ・高齢になってからの沖縄生活で地域の人との交流が少なかったので今回参加できて良かった。

【まとめ】

自分自身と家族のためにも知っておくためになる情報や不安に感じている事など話し合いながらプログラムを進行、また毎回体操を取り入れて健康維持に努めるよう意識しながら実施した。高齢化社会により健康寿命の延伸が課題となっている昨今、最も予防となることが社会参加による人との繋がりであると言われている。そのことから継続的に高齢者が集い学び合える居場所づくりの必要性を感じた。



4 青年対象事業

〔1〕少年教室

科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー「空力ボディー」

趣 旨：次世代を担う子どもたちを対象に、「モノづくりの大切さ」や「科学の楽しさ」を伝え、科学技術に対する興味や夢を育むことを目的とする。

期 日：令和4年11月27日（日）

時 間：10：00～12：00

場 所：若狭公民館ホール

対 象：那覇市在住・在学の小学校4年生から6年生

受講料：無料

定 員：24人 申込人数：25人（うち受講決定人数24人） 参加延べ人数：22人

講 師：トヨタ技術会有志メンバー

★★ 学習プログラム ★★

紙でクルマの模型を作り、ミニ空洞実験装置で空気抵抗を測る実験を行う。一度目の実験結果をもとに、講師から空気抵抗を少なくするための助言をうけ、模型を作り直し、二度目の実験を行う。



【参加者の声】

- ・空気抵抗を減らすのは思ったより大変だった。（小学4年生）
- ・はじめてきたけど来てよかったです。機会があったらまた参加してみたいです。（小学4年生）
- ・目標が数値化されていてわかりやすい。2回つくるのがよかった。（保護者）
- ・自分なりに考えて試行錯誤しながら形を直している姿を見て嬉しくなった。（保護者）

【まとめ】

3年ぶりにトヨタ技術会有志メンバーによる出前講座を開催した。見たことのない装置に目を輝かせて、自分のつくった模型車で実験できるワクワク感が会場にあふれていた。紙で模型車をつくり、技術者のチェックを受けてから、装置で実験した。実験後は空気抵抗を減らすにはどういった形がよいのか丁寧に指導していただき、試行錯誤しながら再度実験。空気抵抗を減らすには、デザインだけでなく、丁寧にしっかりとつくることも大切だと実体験をもって学び、真剣に模型車をつくる様子が伺えた。数値が思うようにのびなかった参加者からも「くやしいけれど楽しかった」という意見があり「ものづくりの大切さ」と「科学の楽しさ」の溢れた講座となった。

ワールド リンク プログラム

趣 旨：グローバル化が進み、より多くの文化や言語が交わる時代にある中、ICT を活用する場面が増え、コミュニケーションにおいて物理的な距離に関係なく交流できるようになっている。本事業は、中学生を対象にグローバル化社会におけるコミュニケーションスキルを養い、世界と繋がる手段として多く使われている英語で、ICT を活用した国際交流を行う。ICT で広がるコミュニケーションの楽しさや方法を学ぶ。

期 間：令和4年12月4日（日）～令和5年3月4日（土）

時 間：13:00～15:00（3月4日のみ18:00～20:00）

場 所：若狭公民館第1研修室 **対 象：**那覇市在住・在学の中学生

受講料：無料 **定 員：**20人 **申込人数：**5人（うち受講決定人数5人） **参加延べ人数：**33人

協 力：株式会社プラズマ、高校生ボランティア団体ミクテナ

★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	参加人数
1	12月 4日（日）	オリエンテーション、英語で自己紹介、英語学習	5人
2	12月11日（日）	インドについて調べ学習、インドの遊びを体験	5人
3	1月 8日（日）	ビデオレターを送ろう①	5人
4	1月15日（日）	ビデオレターを送ろう②	5人
5	1月22日（日）	プレゼンテーション（準備）①	2人
6	1月29日（日）	プレゼンテーション（準備）②	4人
7	2月 5日（日）	プレゼンテーション（準備）③	2人
8	3月 2日（土）	プレゼンテーション（本番）	5人



【参加者の声】

- ・最初は不安な気持ちがあったけど、楽しく終える事が出来た。
- ・あまり知る機会のないインドの文化について触れたり知る事ができた。
- ・英語をしゃべれなくてもしゃべろうとする姿勢が大事だと思った。
- ・外国の人とインターネットを使った交流が当たり前のような社会になると思うので交流ができてよかった。

【まとめ】

本講座は、高校生ボランティア団体ミクテナに、各プログラムの立案や講師を依頼した。英語で海外の方と交流するため、英文の添削、発音の指導など勉強に特化したプログラムにならないよう、アイスブレイクにインドの遊びを取り入れたり、プレゼンテーションの資料作りのために屋外に出たりするなど、和やかな雰囲気になるよう取り組んだ。当初2月下旬にインドの学生とオンライン交流する予定で進めていたが、連携先のトラブルで3月に延期となり、交流相手もイギリス在住インド人へと大きな変更があった。急な変更に参加者は対応できるのか懸念されたが、全員オンライン交流に参加することができた。

参加者からは、外国の文化や交流する姿勢の学び、自身のキャリアに結びついたといった感想があった。ICT で広がるコミュニケーションの楽しさや方法を体験しながら、今後、国際交流のスキルを高めていく基盤づくりになった。

〔2〕 青年講座

うみそら上映会実行委員会

趣 旨：有志により結成された実行委員会によって、新型コロナウイルスの影響下での上映内容や方法を企画立案し、地域や世代を超えた幅広い方々に参加してもらい地域交流・情報交換の場をつくることを目的とする。

期 日：令和4年5月12日（木）～令和5年3月14日（火）

時 間：19:30～20:30

場 所：若狭公民館・会議アプリ ZOOM

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方、関心のある人

受講料：無料 定 員：なし 申込人数：31人

参加延べ人数：126人

講師名：屋宜 貢（若杉福祉会理事）

★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	参加人数
1	5月12日（木）	本番にむけて（広報、上映内容等）	5人
2	6月 3日（金）	本番にむけて（広報、上映内容、役割確認）	8人
3	6月17日（金）	本番（受付、誘導、照明、機材準備）	17人
4	7月 5日（火）	講話：屋宜 貢（若杉福祉会理事）	9人
5	7月15日（金）	本番（受付、誘導、照明、機材準備）	28人
6	8月 4日（木）	本番にむけて（広報、上映内容、役割確認）	10人
7	8月19日（金）	本番（受付、誘導、照明、機材準備）	10人
8	9月 8日（木）	本番にむけて（広報、上映内容、役割確認）	5人
9	9月16日（金）	本番（受付、誘導、照明、機材準備）	12人
10	10月13日（木）	本番にむけて（広報、上映内容、役割確認）	5人
11	10月21日（金）	本番（受付、誘導、照明、機材準備）	7人
12	1月27日（金）	振り返り（反省とこれから）	6人
13	3月14日（火）	来年度に向けて	4人



【まとめ】

新型コロナウイルス感染症の対応については、前年度作成したガイドラインをもとに現在の流行状況などを踏まえ検討し、十分な感染対策を行い実施することができた。

今年度は、高校生のボランティアが多く参加したことにより、来場者からは「高校生が地域で頑張る姿に元気もらった」との声があった。イベントの周知広報については広報車を導入し上映会当日に告知することで、来場者を増やすことにつなげるなど、実行委員会で話し合われたことの成果が表れた。また、イベント運営の話し合いのほか、多世代が交流しながらつくり上げる市民ミュージカルを企画運営している屋宜貢氏を講師に、イベントを盛り上げるアイデアやコツなどを学び実践に活かすことができた。

来年度に向けて、紙芝居上演や出店を設けたいという意見の実現に向けて取り組んでいきたい。

【3】 放課後子ども教室

若狭公民館放課後子ども教室「若狭ちむどんどん太鼓」

趣 旨：子どもたちの安心安全な放課後の居場所づくりとエイサーをとおして郷土の文化・芸能にふれる機会とする。また、公民館利用団体として関連行事に参加することで地域の一員としての自覚を持ち地域づくりに主体的に参画する人材になることを目的とする。

期 間：令和4年4月1日～令和5年3月31日（練習日）毎週火・金曜日

時 間：4月～6月 17:00～18:00 7月～3月 17:30～19:30

場 所：若狭公民館第1研修室またはホール

対 象：那覇市在住・在学の幼児～高校生

受講料：無料

登録児童：11人

参加延べ人数：568人

指導者：岸本 麗子（若狭1丁目自治会会長・若狭小学校区まちづくり協議会子ども育成部長）

サポーター：池城 あかね（保護者）

【活動日】

月	回数	内 容	参加延べ人数	月	回数	内 容	参加延べ人数
4月	5	エイサー練習	16人	11月	8	エイサー練習	68人
5月	4		16人	12月	9		80人
6月	4		12人	1月	10	エイサー練習	94人
7月	9		30人			はたちの式典	
8月	5		24人	2月	9	エイサー練習	83人
9月	5		33人			若狭公民館まつり	
10月	8		48人	3月	8	エイサー練習	64人



【まとめ】

今年度は高校生メンバーが中心となり下級生の手本となって練習をしてきた。また、若狭児童館の子ども居場所事業「かめ屋～」が建物の耐震工事により若狭公民館に移動してきたことで、エイサー体験に来る小学生が増え繋がりを作ることができた。

練習では、エイサーの基礎となるバチ回しや足上げの動作をしっかりと身に着けることを意識し、演舞できる曲目も増えた。「はたちの式典」や「若狭公民館まつり」など、久々のイベント出演でモチベーションも上がり意欲的に練習に励む様子がうかがえた。また、若狭公民館まつりでは、司会や舞台裏方など運営スタッフとしても積極的に参加し役割を果たすことができた。

引き続き、エイサーをとおして健全育成及び地域社会に参加できる機会を増やしていきたい。

5 家庭教育事業

〔1〕家庭教育学級

子どもに学ぶ～効果的な伝え方・学び方～

趣 旨：「小1プロブレム」や「中1ギャップ」といった言葉があるように、子どもの進級時や進学時に、いじめや不登校などの問題が増えるという現状がある。急激な環境の変化や心身の発達などが作用しあって起こると考えられており、学校現場では以前より重要な教育課題として受け止められている。そこで、子どもが少しでもストレスなく楽しく学校生活を送り、学習しやすくなる声かけや心構えを学ぶ保護者向け講座を多くの人に参加できるようにオンラインと対面のハイブリッドで実施する。

期 日：令和5年3月17日（金）18日（土）全2回

時 間：学習プログラム参照・会議アプリ ZOOM

場 所：若狭公民館第1研修室

対 象：中学生までの子を持つ保護者、興味のある人

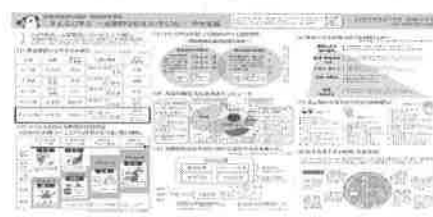
受講料：無料

定 員：各20人 申込人数：55人（うち受講決定人数55人） 参加延べ人数：47人

講 師：佐渡山 要（学習環境プランナー）

★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	参加人数
1	3月17日（金） 19:00～21:00	発達課題からやる気をさぐる/ストレス反応と年齢ごとの相談内容/学びの好みを知って理解UP!/脳の機能/記憶の仕組みを知る/集中できる秘密は高次脳機能にあり/個人差のある学びの好み/脳を発達させる秘密（多重機能）	20人
2	3月18日（土） 14:00～16:00	発達する体/ストレス反応と年齢ごとの相談内容/脳の機能変化する発育環境 /記憶の仕組みを知る/自己有能感を育てよう/個人差のでの学びの好み	27人



【参加者の声】

- ・このような機会を公民館で企画され、発信されていることが素晴らしいと思います。良い機会をありがとうございました。
- ・もっと深く勉強したいです。私自身の決めつけ、思い込みが子どもの成長を妨げてしまっていたかもと反省しています。

【まとめ】

二日間で成長過程に知っておきたい情報をたつぷりと教えていただいた。やる気や集中のなさは、成長過程やストレス、脳など原因はひとつではないことや、理解しやすい学び方や環境とはどういったことなのか、知ることができてよかったという意見が多くあった。自分の子育てが間違っていなかったと安心した人、悩み解決に向けての糸口が見つかった人、参加者それぞれが何かしらの答えを見つけることできた。

6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

第24回 若狭地域文化祭

趣 旨：地域特性を活かし地域住民が関係機関・団体と連携・協力して文化的行事を企画実施する。

幼児・児童生徒から高齢者までの多世代交流と地域の連帯意識の強化を図るとともに、地域文化の再認識と新たな文化の掘り起こしを行い、もって青少年の健全育成と豊かで活気に満ちた潤いのある地域を創造することを目的とする。

日 時：令和4年11月19日（土） 15：00～17：30

場 所：若狭海浜公園 参加延べ人数：1100人

主 催：若狭公民館30周年記念事業実行委員会、若狭地域文化祭実行委員会

★★ プログラム ★★

映像上映	※ビジョンカー（那覇市観光課）の大型ビジョンに動画を映し出し鑑賞 短編映画「選ばれた男」（監督：ゴリ）、懐かしの地域映像（沖縄アーカイブ研究所） 若狭公民館30周年記念動画、若狭魅力・60秒動画コンテスト入賞作品、 映像発表（ジュニアジャズオーケストラ、ネパールダンス、こどもエイサー） 地域団体紹介動画（包括支援センター若狭、若狭1丁目自治会女性部、地球ハートクラブ、若狭・松山旗頭実行委員会、那覇第二民児協）
演舞	上山中学校旗演舞、まつやま保育園エイサー、あゆみ幼児学園ダンス、真行館若狭空手演武、波上宮獅子舞保存会演舞、ハワイアンフラ&ウクレレ、若狭児童館キッズダンス、上山中ダンス、若狭・松山旗頭演舞、うた三線
フリーマーケット	15団体出店（子どもshop、アート部、軽食、上山中創立70周年期成会他）
こども広場	ダンボール遊び、ミニオンゲーム、ヤギとのふれあい、駄菓子屋さん



【参加者の声】

- ・コロナ禍で制限がありましたが、工夫をしながら継続していくことが大切だと感じました。
- ・ビジョンカーや動画コンテストもよく、予想以上の来場者があり、みんなこのようなイベントを待ちわびていたのだと感動しました。

【まとめ】

若狭地域文化祭は、若狭近隣地域の各自治会および小・中学校、保育所からなる実行委員会を立ち上げ、地域住民が主体となって企画・運営した。新型コロナウイルスの流行により開催を見送っていたが、今年度は若狭公民館開館30周年記念事業として、観光危機管理研究所から感染対策を学び、感染対策を行った上で規模を縮小し実施した。大型ビジョンカーを活用し、映像での発表や短編映画、地域団体の活動紹介の他、実際の演舞や会場の様子をリアルタイムで投影し、新たな取り組み実現できた。

オンライン・ネパール ニューイヤー パーティー2022/2079

趣 旨：ネパール人留学生の増加に伴い、文化や慣習の違いから地域住民とのトラブルが起こる可能性が想定される。相互理解を図るため、ネパールビグラム歴のお正月に合わせた交流イベントを2018年から開催している。2020年は新型コロナ感染拡大防止のため中止したが、2021年に引き続き、今年も4月14日に特設ページを開設・公開する。

期 日：令和4年4月14日（木）公開

場 所：若狭公民館ホームページ内特設ページ、若狭公民館ロビー

対 象：関心のある人

受講料：無料

定 員：なし

申込人数：なし

参加延べ人数：なし

視聴回数：8, 251回（2023年3月15日現在）

★★学習プログラム★★

動画を20本公開

■ネパールのお正月！（沖縄ネパール友好協会）

■ネパールを知ろう！（沖縄ネパール友好協会/シレスト・アユシ）

ネパールの民族、ティハール、インタビュー

■知ってびっくり！ネパール人のすてきな活動（ネパール献血者協会/サハ・ラフル・クマル）

■ネパールの歌と踊りで楽しもう！（沖縄在住ネパール人のみなさん）

グルン民族ダンス、ネパールダンス

■沖縄文化で交流しよう！（沖縄ネパール友好協会）

ネパール人の那覇紹介、空手・古武道演舞

■ネパール料理に舌鼓！（講座「NAHAで世界旅行」より）

ダルバート、タルカリ



【まとめ】

ホームページに特設ページを開設する形での実施は2年目。沖縄ネパール友好協会との打合せを重ね、より充実したページになるように取り組んだ。文化紹介やインタビューなど、ネパール人参加者が自ら動画を作成したり、自分たちの活動をぜひ紹介したいと申し出があったり、これまで以上に自分ごととしてとらえられているような印象がある。感染拡大が収まったら、屋外イベントをしたいという意見も出ている。実現に向けて検討したい。

ネパール献血者協会1周年記念 “命を分かち合う献血”

趣 旨：ネパール献血者協会設立1周年を記念して献血の重要性、必要性などを伝えるトークイベントを開催する。国籍を超えて助け合い、共生する地域社会を目指し、課題に共に取り組む。公民館が関わることで地域住民及び、関係機関に広く周知する。また、献血という命を分け合う取り組みの大切さについて知り、活動を広げることで、人権尊重できる社会を目指す。

期 日：令和4年6月14日（火）

時 間：14：00～16：00

場 所：若狭公民館ホール・会議アプリ Zoom

対 象：那覇市在住・在学の人、興味関心のある人

受講料：無料

定 員：なし

申込人数：なし（うち受講決定人数なし）

参加延べ人数：25人

ゲスト：アラズン・マイナリ氏（ビデオメッセージ）

主 催：ネパール献血者協会

共 催：那覇市若狭公民館

協 力：多文化ネットワーク fuふ！沖縄、ONFA（沖縄ネパール友好協会）、那覇市社会福祉協議会、
沖縄NGOセンター

★★ 学習プログラム ★★

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1. オープニングメッセージ | 2. 劇「ひと家族にひとりの献血者」 |
| 3. ビデオメッセージ：アラズン・マイナリ氏 | 4. ネパール献血者協会設立について |
| 5. 1年間の活動報告 | 6. 劇「献血はいつでも、誰でも、どこでもできる」 |
| 7. 今後の活動について | 8. グループディスカッション |
| 9. ふりかえり | |



【参加者の声】

- ・外国人でも献血したいというモチベーションがあるとわかった。英語の表記がないという意見があったので取り入れていきたい。（日本赤十字社沖縄県支部）
- ・ネパール献血者協会の皆さんが日本人のために一生懸命活動していて、イベントも工夫して企画した様子がわかり、日本人である私たちも何か行動をおこせたらと思った。

【まとめ】

ネパール献血者協会から相談をうけ、この素晴らしい取り組みを広く周知することを目的に共催として取り組んだ。ネパール語の動画に日本語訳をつける作業や、ポスターのデザイン・印刷、動画配信などを行った。共催することで、協力団体とのネットワークの構築ができた。今後も協力することで、国籍を超えて共生する地域社会の実現に向けて共に課題に取り組んでいきたい。

なは防災キャンプ '22 春（那覇新都心公園）

趣 旨：那覇市の広域避難場所に指定されている那覇新都心公園を会場に、1泊2日の防災キャンプを実施。テント泊を通して屋外避難を疑似体験することで、もしもの時に活用できる野外活動のノウハウを身につける。また、新都心公園に備えられた災害時機能について学ぶ機会とする。さらに様々な個人・機関との連携を通し、継続的に機能する災害時プラットフォームの形成を促進する。

期 日：令和4年4月22日（金）～ 4月23日（土）

時 間：学習プログラム参照

場 所：那覇新都心公園

対 象：那覇市在住・在学・在勤及び関心のある人

受講料：無料 **定 員：**なし **申込人数：**21人（うち受講決定人数21人）

参加延べ人数：70人（うち宿泊者20人）

共 催：（一社）災害プラットフォームおきなわ

★★ 学習プログラム ★★

日 程	内 容	参加人数
4月 22日（金）13:00 ～ 4月 23日（土）10:00	防災関連ブースの出展 ペット防災 / シェアライフラインブース / 移動図書館 / 受け付け / おでかけヤールーキャラバン 防災さんぽ 那覇新都心公園の備蓄庫見学（ガイド：那覇市防災危機管理課職員・稲垣 暁（災害ソーシャルワーカー）） ・公園にテントを設置し宿泊 / シェアライフラインの活用 / 振り返り / ラジオ体操 / コロナ禍での炊き出し検討 / 参加者振り返り会	70人



【参加者の声】

- ・防災の必要性を知るよいキッカケになった。
- ・防災とキャンプを組み合わせることで、家族や若者、障がい者や高齢者が参加してくれている。いろんな関係機関とつなげることもできる。公助と共助をつなげることができる嬉しい。

【まとめ】

新都心公園にて1泊2日の宿泊を通して、公園内の災害時に活かせる機能を学ぶことができた。防災さんぽでは、那覇市上下水道局の協力のもとマンホールトイレの設置と説明が行われ、公園内の防災機能を初めて知ったという参加者も多く、学びの機会となった。防災危機管理課や公園管理課の職員も宿泊参加することで、公助と共助の連携の重要性を再確認するキッカケになった。

なは防災キャンプ '22 秋（那覇市津波避難ビル）

趣 旨：那覇市津波避難ビルを会場に、1泊2日の防災キャンプを実施。津波来襲時には24時間365日いつでも避難することができる施設の災害時機能について学ぶ機会とする。テント泊を通して屋外避難を疑似体験することで、新たな気づきや学びを得る。

期 日：令和4年11月4日（金）～ 11月5日（土）

時 間：学習プログラム参照

場 所：那覇市津波避難ビル

対 象：わかさ防災教室参加者

受講料：無料

定 員：20名

申込人数：12人（うち受講決定人数12人）

参加延べ人数：28人（うち宿泊者11名）

共 催：（一社）災害プラットフォームおきなわ

★★ 学習プログラム ★★

日 程	内 容	参加人数
11月 4日（金）13:00 ～ 11月 5日（木）10:00	1日目 防災さんぽ 那覇市津波避難ビル内の備蓄庫見学（ガイド：儀間 武（那覇市津波避難ビル館長） 稲垣 暁（災害ソーシャルワーカー）） / テントを設置し宿泊 / 振り返り 2日目 ラジオ体操 / 参加者振り返り会	28人



【参加者の声】

- ・ペットや赤ちゃんの粉ミルクやオムツなど備蓄がない。食べ物のアレルギー対応なのか不安がある。
- ・持病を持っている人が生活、避難していくのはどのようなになるのか気になる。
- ・行政が全てを援助してくれるわけではない、行政に頼みになると市民も行政もひっ迫した環境になる。

【まとめ】

那覇市津波避難ビルにて1泊2日宿泊を通して、建物内の災害時の機能を学ぶことができた。防災さんぽでは、特殊鍵の開閉を参加者と試し、緊急時に避難する体験をするなど。市民が実際に体験する機会を設けることができた。津波避難ビル屋上での疑似避難生活を通して、避難所での備蓄では足りないものがあることがわかり避難時に予め用意すべきことを再確認することができた。また、市民の認識と行政による支援の限界のズレを共有することができ、現状の課題が明らかになった。今後はその課題について取り組んでいきたい。

なは防災キャンプ '23 冬 (松山公園)

趣 旨：那覇市の一時避難場所に指定されている松山公園を会場に、1泊2日の防災キャンプを実施。テント泊を通して屋外避難を疑似体験することで、もしもの時に活用できる野外活動のノウハウなど実践を通して身につける。また、松山公園に備えられた災害時機能について学ぶ機会とする。

期 日：令和5年1月28日(土)～1月29日(日)

時 間：学習プログラム参照

場 所：松山公園

対 象：那覇市在住・在勤・在学 関心のある人

受講料：無料

定 員：50人

申込人数：25人(うち受講決定人数17人)

参加延べ人数：17人(うち宿泊者12人)

共 催：(一社)災害プラットフォームおきなわ

★★ 学習プログラム ★★

日 程	内 容	参加人数
1月 28日(土) 16:00 ～ 1月 29日(木) 10:00	1日目 防災さんぽ / 松山公園内見学(ガイド:稲垣 暁 (災害ソーシャルワーカー))/ 焚き火を囲んでの振り返り/公 園にテントを設置し宿泊/振り返り 2日目 ラジオ体操/参加者振り返り会	25人



【参加者の声】

- ・避難所体験というのが楽しくないと続かない、避難所生活の中にも楽しさを取り入れていきたい。
- ・家で事前にテント設営練習をしていたが、一夜ずっと公園のテントにいと寒くなった。
- ・ペットがいるので、災害時は避難所での宿泊は難しい。テントと車中泊を組み合わせたスタイルも考えていきたい。

【まとめ】

1泊2日の宿泊を通して、松山公園内の災害時機能について学ぶことができた。那覇市の一時避難所に指定されている当公園は海拔が低く、津波災害時は様子をみて避難するようにとアドバイスが災害ソーシャルワーカーの稲垣氏からあった。今回初めて特別に許可をいただき、焚き火を囲んでの振り返りを行うことができた。焚き火の着火のやり方や機能についても学びながら暖をとることができた。今後は焚き火に加え、風呂を沸かして入浴するなど、よりリアルな避難所体験ができるよう自衛隊との連携の可能性などについても話し合われた。

うみそら上映会in若狭海浜公園

趣 旨: 有志による実行委員会で企画立案した野外上映会を、地域の多様な機関・団体と連携・協働して開催する。誰もが利用できる公園で実施することにより、近隣住民はもとより、地域や世代を超えて幅広く参加してもらうことで交流人口を増やし、幅広い交流・情報交換の場となることを目的とする。また、来場者やボランティアの意見を反映させ、回を重ねるごとにより充実した事業をつくり上げることで、上映会を地域全体で育てる実感を共有できるようにする。

期 間: 令和4年6月17日(金)～10月11日(金)

時 間: 学習プログラム参照

場 所: 若狭海浜公園、若狭公民館第1研修室

対 象: どなたでも **受講費:** 無料 **定 員:** なし **申込人数:** なし **参加延べ人数:** 243人

★★ 学習プログラム ★★

日 程	内 容 (短編映画/16mmフィルムアニメ/懐かしの8mmフィルム映像)	参加人数
6月17日(金) 19:00～20:00	わたしの宝物/那覇市魅力発信動画コンテスト/16mmフィルムアニメーション/昔の若狭の映像	31人
7月15日(金) 19:30～20:30	こころ、おどる/にじのはしがかかるとき/昔の名護、那覇の映像	61人
8月19日(金) 19:30～20:30	闘牛女子。/琉球タイムライン/ちゅうしゃのこわいムーじいさん	89人
9月16日(金) 19:30～20:30	ユーチューブ作品上映/ちゅうしゃのこわいムーじいさん/昔の若狭の景色、大綱挽の映像	45人
10月11日(金) 19:00～20:30	STOCK/一輪の花/昔の若狭の映像	17人



【参加者の声】

- ・昔の地域映像や有名な監督の作品が鑑賞できて良かったです。
- ・地域の方と楽しいイベントと一緒に協働して作り上げているのが良かった。
- ・学生さんが協力して運営しており、内容的にも大変素晴らしかったです。
- ・高校生のスタッフがいた事が良い。学生の時から楽しみながら地域づくりに参加できている事が良い。
- ・子どもたちが静かに集中して試みているのに関心しました。上映会を楽しんでいるのが伺えました。

【まとめ】

野外上映会のため、来場者数は天候によって大きく影響されたが、今年は荒天や新型コロナウイルス感染症の影響による中止はなく、全5回無事に開催することができた。また、高校生ボランティアスタッフが多く参加したことにより、会場全体が活気に満ち溢れていた。高校生ボランティアが集中力をなくした子どもたちの面倒をみる姿もあり、イベント運営を通して高校生が地域に関わることの教育的意義を感じることができた。今後も学生が地域の取り組みに参画できる場づくりを継続しながら、地域交流の場としても多様な住民が関われる発展的な取り組みにしていきたい。

リッカ！ヤールーキャラバン！inあけぼの公園

趣 旨：曙小学校区まちづくり協議会と共催して、防災・減災に役立つ知識はもちろん、いざという時の応急手当方法などを楽しく学ぶほか、災害に対する意識啓発も目的とした防災イベントを実施する。多くのボランティアスタッフを必要とすることから、世代間交流や曙地域の人的交流も期待できる。

期 日：令和4年5月22日（日）

時 間：13：00～16：00

場 所：あけぼの公園

対 象：どなたでも

受講料：無料

定 員：なし

申込人数：なし

参加延べ人数：56人

共 催：曙小学校区まちづくり協議会

★★ 学習プログラム ★★

防災体操／対決！バケツリレー／ジャッキアップゲーム／応急手当ワークショップ／毛布で担架タイムトライアル／家具転倒防止ワークショップ／かえっこバザール



【参加者の声】

- ・ボランティアとして参加して多くの人との関わりをもつことができた。
- ・運営の大切さや子どもとの関わり方を学んだ。
- ・まち協のみなさんとのつながりができた！子どもたちに消火器の使い方を教えることができた。

【まとめ】

曙小学校区まちづくり協議会（以下：曙まち協）との共催で役割分担を行い、地域が主体となって開催することができた。コロナ禍の影響で延期となり、ボランティアスタッフ研修から日が経ってからの開催となり、予行演習も日程調整ができず、当日行った。開始時間のギリギリまで準備におわれたが、スタッフの協力でスムーズな進行をすることができた。次年度も開催したいという声があり今後につながるキッカケ作りとなった。

映画上映会&トークイベント ゆめパのじかん

趣 旨：子どもの権利条約フォーラム 2022in 那覇/沖縄の前夜祭として映画の上映会&トークイベントを開催する。子どもの居場所を舞台にした映画「ゆめパのじかん」の鑑賞と、長年子どもの居場所に関わり、さまざまな子どもたちを見てきたゲストのトークセッションと通じて、こどもの権利について考える時間とする。

日 時：令和4年12月9日（土）

時 間：17:00～21:00

場 所：若狭公民館3階ホール、会議アプリ ZOOM

対 象：どなたでも 受講料：1500円

定 員：50人 申込人数：50人（うち受講決定人数：50人） 参加人数：50人

主催：子どもの権利条約フォーラム 2022in 那覇/沖縄実行委員会

共催：若狭公民館

★★ 学習プログラム ★★

子どもの権利条約フォーラム 2022in 那覇/沖縄 実行委員会との共同開催事業。ライブ配信も行った。
トークイベント

登壇者：西野博之氏（「川崎市子ども夢パーク」総合アドバイザー）

庄保共子氏（大阪市西成区釜ヶ崎地区「こどもの里」理事長）

金城隆一（沖縄青少年自立援助センター「ちゅらゆい」代表）

重江良樹氏（「ゆめパのじかん」「さとにきたらええやん」監督）

ファシリティエーター：長谷川俊雄氏（白梅学園大学）

映画上映会/「ゆめパのじかん」川崎市子ども夢パークの3年間をみつめたドキュメンタリー



【参加者の声】

- ・登壇された方のお話を聞いて、子どもたちにはきちんと向き合ってくれる大人の存在が必要だと思った。
- ・みなさんの話や、映画を見て、ゆめパが近くにあったらいいな～と思いました。
- ・映画を見終わったあと、子どもとの向き合い方について語りたくなった。

【まとめ】

子どもの権利条約フォーラム 2022in 那覇/沖縄のために県内外から集まった居場所関係者のほか、子どもの居場所に関心のある方に多く参加していただいた。映画「ゆめパのじかん」では、子どもも大人もみんなが作り手となって生み出される「居場所の力」と、時に悩みながらも、自ら考え歩もうとする「子どもの力」が感じられ、居場所の必要性和子どもとの向き合い方について考え直すきっかけとなった。

トークイベントでは、長年子どもの居場所を運営し、様々な子どもたちと関わり成長を見守り続けてきたゲストならではの心に響く話が多くあった。参加者は子どもに関わるために大切にしたいキーワードをたくさん見つけ、多くの学びを得ることができたようだ。

〔2〕提案事業

わかさ防災教室「防災寺子屋」

趣 旨：全国各地で大規模災害が多発する昨今、地域防災力の向上が求められる。しかし、地域防災を担う地縁組織は高齢化や担い手不足に加え、防災に関する専門的知見やノウハウの不足から十分な取り組みが行われてない現状がある。本講座では、地域で楽しい防災イベントを企画運営できる人材の育成と知識や経験を共有・蓄積できるプラットフォーム構築を目指す。

期 間：令和4年8月16日（火）～11月16日（水）全5回

場 所：若狭公民館第1研修室

対 象：防災士、自主防災組織、自治会、まちづくり協議会、その他防災に興味ある人

定 員：20人 申込人数：22人 参加延べ人数：62人

主 催：NPO 法人地域サポートわかさ・若狭公民館

共 催：（一社）災害プラットフォームおきなわ

助 成：おきぎんふるさと振興基金

★★ 学習プログラム ★★

回数	期 日	時 間	内 容	講 師	参加人数
1	8月16日（火）	19:00-20:30	防災キャンプってなに？	有村 博勝・宮平 未来 （一社）災害プラットフォームおきなわ	19人
2	9月14日（水）	19:00-20:30	防災と減災を考える	稲垣 暁 （一社）災害プラットフォームおきなわ	12人
3	10月12日（水）	19:00-20:30	那覇市総合防災訓練について	源河 北斗 那覇市防災危機管理課	13人
4	11月1日（火）	19:00-20:30	ペットと防災の関わり	畑瀬 裕子 （一社）人も犬も猫も幸せなまち創り隊 Okinawa	10人
5	11月16日（水）	18:30-21:00	防災とまちづくり	宮道 喜一 NPO 法人まちなか研究所わくわく	8人



【参加者の声】

- ・ 自助、共助、近助の大切さを改めて実感しました。防災講座で学んだ事を周囲の方々へ伝えたい。
- ・ 自宅や勤務先のハザードマップを確認する。ご近所さんと人間関係づくりで協力し合える体制へ。

【まとめ】

防災寺子屋では「防災キャンプ」や「リッカ！ヤールーキャラバン！」などのイベントの考え方・作りや、ペットやまちづくりの専門家から見た防災の観点を学ぶことで、地域や企業で自分たちが主となり、イベントを開催できるような人材育成ができた。今後は受講生が主となり企画した防災イベントなどに対して、協力団体として関わられるような繋がりを求めていく。

地域文化倶楽部「アートな部活動」

趣 旨：若狭公民館近隣の中学校2校は、文化系部活動が少なく美術部がないため表現活動や自己実現の場が少ない状況である。学校と連携し社会教育や文化活動の機会を絶やさぬように、部活動×アート活動を実現できるように取り組み、生徒の居場所づくりと文化系部活動の地域移行を目的とする。

期 間：令和4年4月19日（火）～ 令和5年3月23日（木）全112回

時 間：毎週火・水・木曜日 16:00～18:00（テスト期間や祝祭日は休み）

場 所：若狭公民館研修室・美術館・芸術大学・周辺地域など

対 象：那覇市在住・在学のアート好きな中学生

参加延べ人数：408人

受講料：無料

主 催：文化庁「令和4年度 地域文化倶楽部（仮称）創設支援事業」

受 託：NPO 法人地域サポートわかさ

★★ 学習プログラム ★★

プログラム（内容）		講師	参加人数	回数
つくる部（自主制作・地域行事参加）		芸術系大学卒 公民館職員	319	93
観る部（レクチャー・美術館鑑賞）		土屋 誠一（美術批評家・沖縄県立芸術大学准教授）	25	6
オルタナティブ部	ユーチューブ部	藤井 光（現代美術家・映像作家）	12	2
	ダンボール部	儀間 朝龍（現代美術家・イラストレーター）	20	4
	ポストポスト部	平良 亜弥（現代美術家・パフォーマー）	16	4
	ギャラリートーク	照屋 勇賢（現代美術家）	4	1
	トーク&ワークショップ	山城 知佳子（現代美術家・東京藝術大学准教授）	5	1
	トーク&施設見学	阪田 清子（現代美術家・沖縄県立芸術大学准教授）	7	1



【参加者の声】

- ・部員のほとんどが「楽しかった」との感想を持ち次年度以降の継続を希望している。
- ・「新しい発見があった」という声が多くアートに対する認識が変わった生徒が多数いた。
- ・中学校美術教員からは、業務過多のため地域で部活動を担ってもらうのは有り難いとのこと。

【まとめ】

楽しく安心してアート活動ができる居場所を目指し、生徒たち一人一人の技術や特性に合わせてサポートした結果、学校では消極的な生徒や不登校の生徒が生き生きと活動することができた。また、アーティストによるプログラムは、多様な視点を与える貴重な機会となり生徒たちの今後の制作の糧になると感じた。そして、この事業を広く周知するために二つの中学校に出向き「出張！アートな部活動」を行い、楽しい時間を共有し想像力あふれる作品を完成させる事が出来た。これをきっかけに入部した生徒もあり、学校や地域と連携しニーズに応えるアウトリーチ活動の重要性を実感した。地域とのつながりがある公民館で部活動を行うことにより、様々な行事へ参加することが出来て一年間の成果発表も実現した。今後も持続可能な「部活動×アート活動」が行えるように、文化芸術活動を通して「つどう・まなぶ・むすぶ」ことが出来る場として取り組んでいけるよう努めたい。

無料英会話教室「ELIPO」

趣 旨： 就学援助受給世帯及びひとり親世帯の小中学生を対象に、無料で英語体験授業を行う。近年、格差社会と呼ばれ、貧困の連鎖が問題となる中で、家庭とは異なる大人との出会いや自信を持って取り組めることの重要性が指摘されている。英会話を通して多様な大人と出会い、将来への指針を得ることができるきっかけづくりを目的とする。

期 間： 令和4年4月2日（土）～令和5年3月25日（土） 毎週土曜日（全50回）

時 間： 10:00～12:00

場 所： 若狭公民館 第2研修室

対 象： 就学援助受給世帯及びひとり親世帯の小中学生

受講料： 無料 定員：なし 申込人数：なし 参加延べ人数：277人

講 師： 川畑 彩（NPO 法人 ELIPO 代表）

★★ 学習プログラム ★★

「Gamification」と呼ばれる教育法でゲームを取り入れたりハロウィンイベントと連動させたりしながら楽しくリラックスしながら英会話を学ぶ



【まとめ】

ELIPO（エリポ）は、English Language Immersion Program in Okinawa（イングリッシュ ラングエッジ イマージョン プログラム イン オキナワ）の頭文字を取って命名されたNPO法人で、この事業はNPO法人 ELIPOの提案で生まれた。代表の川畑氏は「沖縄の将来を担う子どもたちに対して、自分が貢献できることをしたい」と、この事業のアイデアを持っていたが、なかなか実現に向けての具体的な方策が得られず、若狭公民館に相談にきたことで、実現するに至った。当初は、受講生も少なかったが、だんだん周知されるようになり、回を追うごとに増えている。はじめはおとなしかった子どもたちもだんだん大きな声で受け答えするようになり、徐々に自信をつけていることがわかる。また保護者からも好評で、次年度以降も継続して実施することが決まった。この事業を通して、地域や社会に対して想いを持って活動しようとする人の後押しをするのも公民館の重要な役割の一つであることをあらためて実感した。

一品持ち寄り「朝食会」

趣 旨：平成19年度の青年の講座・交流事業参加者からの提案で始まったおかず一品持ち寄り「朝食会」は、毎月一回の開催で15年以上続いている。地域住民の主体性を生かしながら、多様な人が参加できる“ゆるい”雰囲気のもと食を囲み、地域情報の交換、多世代交流を創出する。新型コロナウイルス感染症の流行状況や参加者からの提案などによりオンライン開催や会場を変更するなど柔軟に対応していく。

期 間：令和4年4月23日（土）～令和5年3月25日（土）（全11回）

時 間：8：30～10：30

場 所：那覇市若狭公民館 実習室・オンライン（会議アプリ ZOOM）・ほか

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方、関心のある方

受講料：無料（但し材料費実費として100円徴収）

定 員：なし

参加延べ人数：139人

★★学習プログラム★★

回	日 時	会 場	回	日 時	会 場
1	4月23日（土）	那覇新都心公園	7	11月20日（日）	大名児童館
2	6月25日（土）	若狭公民館 実習室	8	12月31日（土）	大名児童館
3	7月30日（土）	オンライン	9	1月21日（土）	若狭公民館 実習室
4	8月27日（土）	クニダテラス	10	2月25日（土）	若狭公民館 実習室
5	9月24日（土）	なは市民協働プラザ 一階ピロティ	11	3月25日（土）	若狭公民館 実習室
6	10月25日（土）	オリコ商会			



【参加者の声】

- ・ 一品ずつでも持ち寄るととても豪華になるし、健康的な食事をみんなでいただくとより美味しく感じます。
- ・ 情報交換の場になっていて、いろんな人と出会えて楽しい。

【まとめ】

新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインや屋外での開催など工夫しながらも継続実施することができてよかった。長年継続していることにより、子どもたちが積極的にお手伝いするようになるなど成長の様子を感じられる場面も多くなっている。今後も多様な人が集える情報交換の場として継続する必要性を感じている。

公共施設管理団体等が実施する子どもの居場所運営事業

趣 旨：那覇市保護管理課の補助事業として若狭児童館と連携し、公民館と児童館それぞれの特性や強みを活かした子どもの居場所を提供する。公民館では、文化的な体験活動を通して自己肯定感や自己有用感を育む。また、これまで培ってきたネットワークを活かした地域資源の活用と学校をはじめとする関係機関との連携により、包括的に見守り支援する。

期 日：令和4年4月～令和5年3月 **時 間：**学習プログラム参照 **場 所：**学習プログラム参照

対 象：学習プログラム参照

受講料：なし

受講料：なし

定 員：なし **申込人数：**なし **参加延べ人数：**1, 897人 (■印は別紙にて報告済みのため除外)

★★ 学習プログラム ★★

活動名	時間	対象	場所	
アートな部活動■	毎週火・水・木 16時～18時	中学生	第2研修室	絵画・工作
若狭ちむどん太鼓■	毎週火・金 17時～18時	小・中学生	第1研修室	創作エイサー
ELIPO■	毎週土曜日 10時～12時	ひとり親、 就学援助世帯	第2研修室	英会話
ミクテナ	不定期土曜 13時～15時 (8月～2月)	小・中学生	第1研修室	高校生による学習支援 体験活動、居場所づくり
スパークル	毎週水曜 17時～19時 (12月～2月)	小・中学生	和室	大学生による学習支援
ジュニアジャズ オーケストラおきなわ	毎週木曜 16時半～18時半 毎週日曜 14時～16時	小学生	ホール	ジャズの演奏 音楽を通じた居場所づくり
一品持ち寄り朝食会■	第4土曜日 朝	どなたでも	実習室	朝食会
ロビー利用	随時	どなたでも	ロビー	勉強・会話
卓球	随時	どなたでも	第1研修室	卓球



【まとめ】

異年齢、多様な世代とのコミュニケーションをとり、地域の大人に見守られることで自己有用感・肯定感を育んだ。また、2ヶ月に一度、連携する学校、行政関係各課、社会福祉協議会、学習支援アドバイザーと共に地域連携会議を行い、情報共有することで、地域全体で子どもの安心できる居場所となるように意識した。

若狭町の歴史をつなぐ未来づくりプロジェクト

趣 旨：地域にある歴史を見える形で継承し、自分たちが住む町に愛着を持つ地域となることを目的に、本事業ではもともとある歴史的に意味のある場所に案内版を設置する。また、地域の歴史について学ぶ講座を開催し、講座で学んだことを伝えるガイドを育成し、もともとある歴史を風化させないようにする。

期 間：令和4年9月～令和5年2月

時 間：学習プログラム参照

場 所：若狭公民館和室 ほか

対 象：どなたでも

受講料：無料

定 員：なし

参加延べ人数：185人

共 催：若狭小学校区まちづくり協議会

★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	場 所
1	9月2日(金) 18:00～19:00	田名真之氏講演会	ホール
2	9月30日(水) 14:00～16:00	外間正明氏勉強会	和室
3	10月20日(水) 14:00～16:00	外間正明氏勉強会	和室
4	11月6日(水)～2月13日(水)の期間 隔週で開催(全13回) 14:00～16:00	歴史勉強会	和室
5	2月22日(水) 15:00～17:00	若狭町まち歩き	周辺地域



【参加者の声】

- ・歴史講座を開催し、地域の歴史に興味のある人材で勉強会を重ね、学びを深め、地域の歴史を未来につなぐための素地ができた。
- ・案内板の設置にあたり、専門家にアドバイスをもらいながら最後まで妥協せず、納得できるものができた。

【まとめ】

案内板を設置することにより、地域にある歴史を見える形で継承し、自分たちが住む町に愛着を持つためのスタートをきることが出来た。勉強会で地域の歴史について学びを深め、ガイドとして自信を持って案内することができる人材育成も出来、今後の若狭地域における未来づくりの下準備が出来た。今後は、若狭小学校区まちづくり協議会の取り組みとして引き継がれる。

7 公民館まつり

第30回 若狭公民館まつり

趣 旨：若狭公民館で活動している団体（サークル）の活動成果を発表・展示することにより、団体の学習活動継続への刺激を与え、団体（サークル）相互の連携を深める。

期 間：令和5年2月18日（土）、19日（日）、25日（土）

時 間：学習プログラム参照

場 所：若狭公民館

対 象：全般 受講料：無料 定員：なし 申込人数：なし 参加延べ人数：1,640人

主 催：若狭公民館利用団体連絡協議会

共 催：若狭公民館・若狭図書館・NPO法人地域サポートわかさ

協 力：医療法人陽心会

★★ プログラム ★★

内 容	期 日	時 間	会 場	参加人数
オープニング	18日（土）	9:30～	公民館前道路	150人
バザー	18日（土）	オープニング終了後	玄関前	120人
えほんでかるた	18日（土）	10:30～11:30	ホール	15人
特別講演「高齢女性の美しい・楽しい生き方」	18日（土）	15:20～16:00	ホール	75人
展示発表	18日（土） 19日（日）	10:00～16:00 10:00～15:30	第1研修室 第2研修室	200人
舞台発表	18日（土） 19日（日）	13:30～16:30 13:00～15:30	ホール	500人
出店コーナー	18日（土）	11:00～	玄関前	200人
喫茶コーナー	18日（土） 19日（日）	10:00～16:00 10:00～15:30	2階ロビー	300人
社交ダンスパーティー	25日（土）	18:30～21:00	ホール	80人



【まとめ】

約3年ぶりに全プログラム対面開催された若狭公民館まつりはオープニングやバザー、出店・喫茶コーナーなど盛りだくさんで無事終了した。新型コロナウイルス感染症予防の対策として、医療法人の協力を得て、若狭公民館内にて事前のPCR検査・抗原検査を実施した。日頃の成果を発表できる場所ができたことで、サークル活動が活発になったとの声をいただいた。年々減少傾向にある利用団体の活性化及びサークル数の増加につながるよう利用団体と連携していきたい。

公民館まつり風景



オープニング



バザー



出店コーナー



バルーン講習会



喫茶コーナー



えほんでかるた



展示発表



舞台発表